

第1回高知コアセンター講演会



# 『ちきゅう』で巨大地震を探る

～南海地震と3・11東北地震～

## ■日時

平成25年3月9日(土)

13:00～16:00(開場 12:30)

入場無料・事前申込不要

定員500名

## ■会場

高知県立県民文化ホール

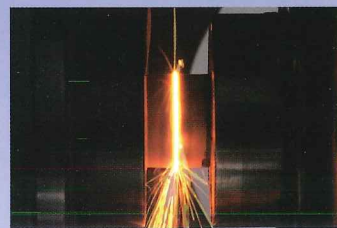
グリーンホール(小ホール)



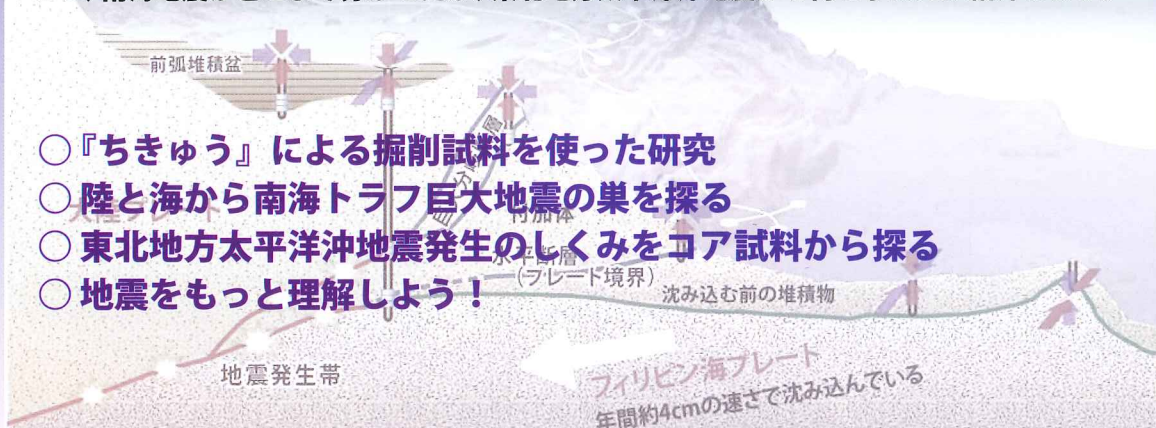
共同主催：国立大学法人高知大学海洋コア総合研究センター  
独立行政法人海洋研究開発機構高知コア研究所

後援：文部科学省(申請中)、高知県、NHK高知放送局、高知新聞、RKC高知放送、FM高知、KUTVテレビ高知

高知県の目の前に広がる太平洋。その下にはマグニチュード8を超える南海トラフ巨大地震の震源域が広がっています。地震・津波の新たな被害予測が発表された今、そこで何が起きているのでしょうか。地球深部探査船「ちきゅう」で得られた最新の掘削成果を交えつつ、南海地震がどこまで分かったか、東北地方太平洋沖地震から何を学んだか紹介します。



- 『ちきゅう』による掘削試料を使った研究
- 陸と海から南海トラフ巨大地震の巣を探る
- 東北地方太平洋沖地震発生のしくみをコア試料から探る
- 地震をもっと理解しよう！



お問い合わせ先

国立大学法人高知大学 研究国際部 海洋コア室(海洋コア総合研究センター)

TEL: 088-864-6712 E-mail: kk21@kochi-u.ac.jp

独立行政法人海洋研究開発機構 高知コア研究所 管理課

TEL: 088-864-6705 E-mail: kochi\_kanrika@jamstec.go.jp



# 第1回高知コアセンター講演会

## 『ちきゅう』で巨大地震を探る ～南海地震と3・11東北地震～

### プログラム

- 12:30 開場  
13:00 開会 開会のご挨拶  
来賓ご挨拶  
イントロダクション 『ちきゅう』による掘削試料を使った研究  
海洋研究開発機構高知コア研究所 所長 木下正高  
高知コアセンター (KCC) の紹介、コア試料の研究とは何か、地球深部探査船「ちきゅう」のコアで何をを目指すのか、KCCに備えられている最新の分析・実験装置で何を研究するのか、などKCCの概要を紹介し、講演会の導入とします
- 13:20～14:00 講演1 陸と海から南海トラフ巨大地震の巣を探る  
高知大学自然科学系理学部門 (海洋コア総合研究センター) 准教授 橋本善孝  
高知の陸上地質と「ちきゅう」の掘削から、南海トラフの過去と現在の理解がどこまで進んだか、そして未来に何が起きようとしているか、高知コアセンターや高知大学の取り組みを中心に紹介します
- 14:00～14:40 講演2 東北地方太平洋沖地震発生のしくみをコア試料から探る  
海洋研究開発機構高知コア研究所地震断層研究グループ 主任研究員 廣瀬丈洋  
「ちきゅう」によって、東北地方太平洋沖地震の根源であるプレート境界断層を掘削することに成功しました。掘削によって明らかになってきたことや、地震発生のしくみについて紹介します
- 14:40～15:00 休憩 ロビーにてパネル展示
- 15:00～15:55 パネルディスカッション 地震をもっと理解しよう！  
コーディネータ 高知大学海洋コア総合研究センター センター長 徳山英一  
パネラー 木下正高、橋本善孝、廣瀬丈洋  
寺尾佳倫 (高知県立高知追手前高等学校 教諭)  
長岡杏奈 (高知県立高知小津高等学校 2年)
- 15:55 閉会のご挨拶  
16:00 閉会  
16:30 閉場



- 司会進行・パネラー  
テレビ高知アナウンサー 竹村志麻



高知市出身。お茶の水女子大学卒業後、南日本放送を経てテレビ高知アナウンサー。現在、夕方のニュース番組「イブニングKOCCHI」のキャスターとして活躍中。

### アクセス

#### 高知県立県民文化ホール

〒780-0870 高知県高知市本町4丁目3-30  
TEL: 088-824-5322

#### 高知駅より

- 土佐電鉄路面電車  
はりまや橋乗り換え約20分 (県庁前下車) + 徒歩数分
- タクシー 約15分



#### 高知コアセンターについて

高知コアセンター (KCC) は、国立大学法人高知大学と独立行政法人海洋研究開発機構が共同で運営する研究施設の名称です。二つの法人が「掘削科学研究の中核拠点」という共通の目的を持って研究を進め、施設や研究機器を共同運営しています。

